

【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 11月 3日
留学先大学/国名	マレーシア科学大学(日本語名) 国名:マレーシア Universiti Sains Malaysia(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2025年9月～2025年2月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部
学年 ※出発時の本学での学年	3年生
I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。	
<p>留学前の情報収集の手段としては、主に 2 つありました。</p> <p>1 つ目は、直接連絡を取る方法です。過去に留学していた先輩に連絡を取り、大学の様子を聞いたり、offer letter が届くタイミングで、Telegram というアプリ上で送られてくる留学生グループの招待コードから参加し、これから留学する予定の学生や、前のセメスターから来ている留学生と連絡を取ったりして、大学の情報を集めていました。</p> <p>2 つ目は、SNS を活用した情報収集です。TikTok や Instagram で「留学先に持って行ってよかった持ち物」などの投稿を参考にし、自分なりにリストアップしていました。そのおかげで、今のところ「準備不足だった」と感じることはほとんどありません。</p> <p>共通して言えるのは、1 つの情報源に頼るのではなく、複数の情報源からさまざまな角度で情報を集めることが大切だということです。</p>	
II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい	
ビザの種類: 学生ビザ	申請先: EMGS
ビザ取得所要日数: 1 か月 (申請してから何日 / 何週間要したか)	ビザ取得費用: RM100
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
offer letter(留学先大学から) Passport Copy(パスポートのコピー) confirmation letter(明治大学国際連携事務室に申請) 学生証(明治大学のもの) 写真(白背景) 英文の在学証明書 健康状態申告書(留学先大学指定のフォーマットあり)	

2. 具体的な申し込み手順を教えて下さい。

Offer Letter のメール到着後、Offer Letter の案内に従って、EMGS に必要書類を提出→eVAL を取得→留学 1か月前を目安に eVISA を申請(2日で取得)→マレーシア到着後、大学の指示に従って最終手続きを行う

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

いくつか、明治大学に行かないと入手できない書類があったので、早めに入手しておくといいと思います。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

現金については、WISE というデビットカードを作り、現地の銀行で引き出す方が手数料も安いため、多くの現金を日本から持つて行く必要はないと思います。

また、SIM カードについては、最初の数日間のみ eSIM を利用し、到着後に現地の通信会社で SIM カードを購入する方法がおすすめです。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	マレーシア航空				
航空券手配方法	マレーシア航空ホームページより学割で購入 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	ペナン国際空港		現地到着時刻	AM9:00	
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ()
移動の所要時間	20 分				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

大学の PickUp サービスを利用するするのがおすすめです(Offer Letter に案内あり)

大学到着日 Offer Letter 9月 27 日 11 時頃

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:	月	日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()			
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他()			
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()			
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()			
住居の申込み手順	Telegram のグループを通じて留学生と連絡を取りました。私の場合は、前のセメスターから滞在していた学生が住む家で、空いている部屋に入れてもらいました。			

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか? トラブルはありましたか?

家を見つけるまでには、約 1 か月ほどかかりました。その理由は、さまざまな人に連絡を取りながら、できるだけ多くの情報を集めていたためです。

3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月28日～10月2日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input checked="" type="checkbox"/> 有料(金額：自由参加の遠征 RM80)
内容と様子は？	<p>オリエンテーションウィークは、さまざまな国的学生と仲良くなる絶好の機会なので、ぜひ参加することをおすすめします。USMには、“Country Buddies”という現地学生が留学生をサポートしてくれる団体があり、このオリエンテーションウィークは主にその Buddies によって運営されています。1日目はオリエンテーションとレクリエーション、2日目はオリエンテーションとキャンパスツアーや、3日目は自由参加の遠征でプールに行きました。4日目は“International Culture Showcase”というイベントで、各国のダンスや文化を披露して大いに盛り上りました。5日目は Sports Day で、バレーボールなどのスポーツを通して楽しい時間を過ごしました。留学生や Country Buddies はみんなとてもフレンドリーで、お互いに友達を増やしたいという雰囲気がありました。</p> <p>このオリエンテーションウィークを通じて、他の日本人留学生や多くの外国人留学生と仲良くなることができ、その後もここで知り合った人たちとよく遊ぶようになりました。</p>
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	10月6日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

オリエンテーションウィークの2日目には、大学でVISAを正式に取得するための申請時間が設けられていました。

申請料金はRM340で、その場でパスポートを約2週間ほど回収されます。

また、明治大学の保険とは別に、現地の大学でも保険に加入する必要があり、料金はRM275でした。いずれも現金での支払いでした

2. その他現地でした手続きは（健康診断、予防接種等）？いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

大学側から予防接種に関する案内は特にありませんでした。私は自分で調べて、留学の半年前からA型・B型肝炎のワクチンを計画的に接種し始め、留学の1か月前には狂犬病と腸チフスのワクチンも受けました。周りには接種していない人もいましたが、現地で安心して生活するためには、事前に受けておいて損はないと思います。

また、現地では到着から1週間後に健康診断がありました。費用はRM360で、カードでの支払いも可能です。内容は身長・体重の測定に加え、採血や採尿も行われるなど、想像以上に本格的な検査でした。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

私は日本でWISEというデビットカードを作りました。他の留学生もほとんどこのカードを持っていました。このカードは、世界中のATMで現地通貨を引き出すことができ、両替所よりもレートがかなり良いのが特徴です。スマートフォンのアプリから簡単にアカウントを作成でき、1200円で物理カードの作成が出来ます。カードが届くまでには約2週間ほどかかりました。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

現地では、日本で使用しているスマートフォンをそのまま利用しています。到着後すぐに使えるよう、事前に3日分のeSIMを購入しておきました。その後、現地の通信会社である「U-mobile」のショップに行き、SIMカードを購入しました。無制限プランで月額RM40と非常に安く、とても助かっています。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（　　月　　日頃）
オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に（10月2日頃）
オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることはありませんか？

あった なかつた

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

現地の学生は私たち留学生より先に履修登録を行うため、言語科目などの少人数制の授業は現地学生で定員が埋まってしまうことが多いです。そのため、留学生は履修登録が始まったタイミングで、先生に直接メールを送って受講をお願いする必要がある場合もありました。

また、“e-learning”というOh-Meijiのような現地のポータルサイトがあるのですが、留学生は履修登録が完了するまで利用できません。オリエンテーションウィークでは、授業の簡単な説明資料は配布されましたが、詳しいシラバスは現地学生に声をかけて共有してもらうなど、情報を集めるのが少し大変でした。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00							
8: 00							
9: 00							
10: 00							
11: 00		INTERNATIONAL BUSINESS STRATEGY	ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCES ECONOMICS	ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCES ECONOMICS			
12: 00		INTERNATIONAL BUSINESS STRATEGY	ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCES ECONOMICS	GEOGRAPHY OF ASEAN AND ASIA PACIFIC			
13: 00							
14: 00		GEOGRAPHY OF ASEAN AND ASIA PACIFIC		GEOGRAPHY OF ASEAN AND ASIA PACIFIC			
15: 00			ORGANISATIONAL BEHAVIOUR	ECONOMY, ENTREPRENEURSHIP AND CULTURE			
16: 00		INTERNATIONAL BUSINESS	ORGANISATIONAL BEHAVIOUR	ECONOMY, ENTREPRENEURSHIP AND CULTURE			
17: 00		INTERNATIONAL BUSINESS					
18: 00							
19: 00							
20: 00							
21: 00							
22: 00							
23: 00							
24: 00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

【授業について】

マレーシアでは、英語が第二言語として使われているため、先生も学生もネイティブほど速く話さず、わかりやすい英語で説明してくれることが多いです。そのため、英語で授業を受けることへのハードルは思っていたよりも低く、間違いを恐れず積極的に発言できる環境だと感じました。

ただ、先生によってマレー語や中国語、インド語のアクセントが混ざっていることもあります。最初のうちは聞き取るのが難しい場面もありました。そのため、翻訳アプリを使ったり、授業の録音をAIで文字起こしして内容を復習したりと、自分なりに工夫しながら授業についていっています。

また、多くの授業ではレクチャーとは別に「チュートリアル」という時間が設けられており、その時間には学生同士でグループを作り、パワーポイントを作成して発表を行います。現地学生と協力して進めるため、英語でのディスカッションや役割分担なども良い実践の場になっています。

【宿舎について】

留学生は寮に住むか、コンドミニアムを探すかを選ぶことができます。寮は月RM150～300、コンドミニアムは場所にもよりますが大体月RM500～1000ほどです。最初からどちらにするか決めることもできますし、最初の1週間だけ寮に滞在して、その間にコンドミニアムを探して引っ越す人もいます。

ただ、寮にはインドネシア人やインド人の学生が多い印象です。私は、寮のシャワーが水しか出ない点や、キッチンがないこと、自分専用の個室ではなく共同部屋しかない点が気になったため、コンドミニアムを選びました。日本人でも寮に住んでいる人はいますが、特に女子学生は最初の1週間で全員引っ越ししたと聞いています。荷物の移動などを考えると、私としては最初からコンドミニアムに住んでおいてよかったです。

私の住んでいるコンドミニアムは思っていたよりも快適です。部屋にはエアコンもありますが、気温が高い日でもファンだけで十分過ごせる日が多いです。ただし、虫（アリやハエなど）は日本より発生しやすいため、掃除を徹底したり殺虫剤を常備したりして対策しています。

共用スペースやトイレは日本ほど清潔ではありませんが、私の部屋はシャワールームとトイレが分かれており、さらにトイレットペーパーを流せる点がとても助かっています。生活に必要なものは現地スーパーの「ロータス」で安く揃えることができますし、日本のものが必要なときは、少し高いですがイオンやダイソーでもほとんどのものが手に入ります。日本食も購入できるため、大きな不便は感じていません。

【生活全般について】

マレーシアの物価はとても安く、1食200～300円ほどで食べられます。野菜や果物も日本の2～3分の1の価格で、タクシーも150～300円ほどとかなりリーズナブルです。移動手段は「Grab」というアプリでタクシーを呼ぶのが一般的です。食事は中華・マレー・インド料理がどれもおいしく、バリエーションも豊かなので、食生活に困ることはほとんどありません。治安も良く、一人で出歩いても危険を感じることはほとんどなく、観光客を狙った詐欺も少ないです。現地の人たちはとても親切で、話しかけるとすぐに仲良くなれます。

また、東南アジア全体の物価が安いため、月曜日や金曜日を休みにして旅行する学生も多いです。私は月曜と金曜を休みにして、タイ、ラオス、KLなどマレーシアの他の都市に遊びに行く計画を立てています。一方で、歩道が整備されていなかつたり、時間に少しルーズな人が多かったりと、日本との違いに驚くこともあります。宗教上の理由からお酒は少し高めですが、豚肉料理は普通に食べられます。

また、大学やペナンには中華系マレー人や、中国人が多いため、よく中国人に間違えられて中国語で話しかけられることもあります。私は第二外国語で中国語を履修していたため少し理解できますが、もっと会話できるレベルまで練習しておけばよかったです。

全体としては思っていたよりもずっと快適で、現地の人々の温かさや暮らしやすさを実感しています。